

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会で用いられている AI 等のテクノロジーが持つ機能や役割、実例などの基礎的な情報を自分の言葉で説明することができる ・簡単なプログラムを使って実際に AI を動かすことができる <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的課題について調べ、AI 等のテクノロジー活用した解決方法を提案することができる ・AI が人々、社会にとって正しく活用されるための倫理的判断をすることができる ・テクノロジーが人間個人、社会に与える影響を考察することが出来る ・上記事項について、他者に適切に提示/説明することができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI や新たな技術開発、イノベーションについてより深く知ろうとし、それをういて解決しようとする姿勢を持つことが出来る ・社会的課題に向き合う中で、AI などに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、人間の本来の生き方について追求することができる 	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①実際に AI を社会で活用する人を通じて、社会で用いられている実践的な AI 活用に関わる知識を獲得することができる ②社会課題解決のために、2 年で AI を動かした経験と、社会課題に関わる客観的なデータを基に AI を活用した具体的な提案をすることができる <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AI を活用した社会課題の解決案について、議論などを通じて他者と協働して創造することができる ②AI を活用した社会課題の解決案について、倫理的な判断を加味することができる ③AI を活用した社会課題の解決案について、他者に分かりやすく提示し、他者の考え方や生き方に影響を与えることができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AI や新たな技術開発、イノベーションについて、自発的に調べ知識を追い求めることができる ②社会課題に向き合う中で、AI などに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、自分の生き方について追求することができる 	

授業日	6/27(火)	1 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回																																				
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③ 【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・自分達の仮説をプロフェッショナルに発表してフィードバックを受けることで、改善することができる																																						
時間 授業内容	15 75	X-mov Japan 社長の長安 成暉氏による会社紹介：学びの記録 各班 5 分の発表、5 分の質疑応答を行う																																					
評価方法	5分間プレゼン+5分間Q&A <table border="1"> <thead> <tr> <th>学習目標</th> <th>観点</th> <th>説明</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【知技②】</td> <td>社会課題の具体性</td> <td>先行研究に基づいて、社会課題の内容が具体的に説明されているか</td> <td>社会課題の内容の説明が、先行研究にしっかりと基づいた具体性に富むものである</td> <td>社会課題の内容の説明が、先行研究にある程度基づいており、具体性も一部見受けられる</td> <td>社会課題の内容の説明が、先行研究にあまり基づいておらず、具体性に欠ける</td> </tr> <tr> <td>【知技①②】</td> <td>活用するAIの妥当性</td> <td>どのようなAIを活用するかについて明確に説明されているか</td> <td>AIについての知識、活用方法について問題なく正確に説明することができる</td> <td>AIについての知識、活用方法について比較的正確に説明することができる</td> <td>AIについての知識、活用方法について不明確な部分がある</td> </tr> <tr> <td>【思判表③】</td> <td>訴求力</td> <td>発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっているか</td> <td>発表を聞いている人の考えや行動を変えることに、強く働きかける発表になっている。</td> <td>発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっている。</td> <td>発表を聞いている人の考えや行動を変える発表に全くならない。</td> </tr> <tr> <td>【思判表③】</td> <td>視聴覚資料</td> <td>プレゼンに適した工夫がなされているか</td> <td>スライドの構成がしっかりまとめられており、文字のフォントやグラフ・図が効果的に用いられている</td> <td>スライドの構成がある程度まとめられており、文字のフォントやグラフ・図にも意図を感じる</td> <td>スライドの構成がまとめられておらず、文字のフォントやグラフ・図にも活かされていない。</td> </tr> <tr> <td>【思判表③】</td> <td>発表の仕方</td> <td>プレゼンに適した工夫がなされているか</td> <td>発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意が強く感じられる。</td> <td>発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意がある程度感じられる</td> <td>発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意があまり感じられない</td> </tr> </tbody> </table> チェックリスト <input type="checkbox"/> ±1分間の発表に収まっている			学習目標	観点	説明	A	B	C	【知技②】	社会課題の具体性	先行研究に基づいて、社会課題の内容が具体的に説明されているか	社会課題の内容の説明が、先行研究にしっかりと基づいた具体性に富むものである	社会課題の内容の説明が、先行研究にある程度基づいており、具体性も一部見受けられる	社会課題の内容の説明が、先行研究にあまり基づいておらず、具体性に欠ける	【知技①②】	活用するAIの妥当性	どのようなAIを活用するかについて明確に説明されているか	AIについての知識、活用方法について問題なく正確に説明することができる	AIについての知識、活用方法について比較的正確に説明することができる	AIについての知識、活用方法について不明確な部分がある	【思判表③】	訴求力	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっているか	発表を聞いている人の考えや行動を変えることに、強く働きかける発表になっている。	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっている。	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表に全くならない。	【思判表③】	視聴覚資料	プレゼンに適した工夫がなされているか	スライドの構成がしっかりまとめられており、文字のフォントやグラフ・図が効果的に用いられている	スライドの構成がある程度まとめられており、文字のフォントやグラフ・図にも意図を感じる	スライドの構成がまとめられておらず、文字のフォントやグラフ・図にも活かされていない。	【思判表③】	発表の仕方	プレゼンに適した工夫がなされているか	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意が強く感じられる。	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意がある程度感じられる	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意があまり感じられない
学習目標	観点	説明	A	B	C																																		
【知技②】	社会課題の具体性	先行研究に基づいて、社会課題の内容が具体的に説明されているか	社会課題の内容の説明が、先行研究にしっかりと基づいた具体性に富むものである	社会課題の内容の説明が、先行研究にある程度基づいており、具体性も一部見受けられる	社会課題の内容の説明が、先行研究にあまり基づいておらず、具体性に欠ける																																		
【知技①②】	活用するAIの妥当性	どのようなAIを活用するかについて明確に説明されているか	AIについての知識、活用方法について問題なく正確に説明することができる	AIについての知識、活用方法について比較的正確に説明することができる	AIについての知識、活用方法について不明確な部分がある																																		
【思判表③】	訴求力	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっているか	発表を聞いている人の考えや行動を変えることに、強く働きかける発表になっている。	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表になっている。	発表を聞いている人の考えや行動を変える発表に全くならない。																																		
【思判表③】	視聴覚資料	プレゼンに適した工夫がなされているか	スライドの構成がしっかりまとめられており、文字のフォントやグラフ・図が効果的に用いられている	スライドの構成がある程度まとめられており、文字のフォントやグラフ・図にも意図を感じる	スライドの構成がまとめられておらず、文字のフォントやグラフ・図にも活かされていない。																																		
【思判表③】	発表の仕方	プレゼンに適した工夫がなされているか	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意が強く感じられる。	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意がある程度感じられる	発表者の声量や視線からこの課題に対する熱意があまり感じられない																																		
宿題指示																																							